

LANDSCAPE DESIGN

3

1996年2月発行

CONTENTS

特別インタビュー

都市計画の新しい創造——芸術家は都市構想の考案者

モニック・フォー1
企画・構成／編集部 聞き手／滝田 順＋編集部

◆ モニック・フォーとランドスケープアート5
——都市におけるヒューマニズムの復興をめざして
文／涌井雅之

LANDSCAPE WORKS

「不増不減の心」を表す6

羽ノ浦町情報文化センター日本庭園

文／枡野俊明

マーク・ピーターがつくる京都の坪庭16

宿坊・悲田院の作庭

文／マーク・ピーター・キーン

機能と意匠が融合した景観デザイン20

小田原フラワーガーデン 薔薇のパーゴラと新横浜 TAK 101

文／白江龍三

Art Work

“Return To The Earth”26

篠原猛史の環境芸術

文／竹田直樹

庭を能くする建築家 第3回

村田靖夫建築研究室32

庭はもうひとつの部屋

園田 穰

アメリカのコミュニティガーデン ③

荒廃したまちの再生を担うコミュニティガーデン40

望月南穂、ケイト・スタッフォード

現代庭園考

肌で覚えた庭づくりから 理論武装した公園づくりへ46

【鼎談】榊原八朗、進士五十八、涌井雅之

編集兼発行人／丸茂 喬

編集協力／河内厚郎事務所 園田 穰 竹田直樹

堤野仁史 満園武雄

撮影協力／廣田治雄 細川和昭 萩原宏美

ロゴタイプ・表紙デザイン／佐藤晃一

表紙イラストレーション／若尾真一郎

表紙写真／滝口 保

「ランドスケープデザイン」編集部

編集

木幡裕人 高橋佳代子 石川正洋 桐山真帆子

深山美都里

デザイン

盛田尚弘 曾根 拓 鈴木敦子 小浜京子

広告

尾澤彰彦

販売

一ノ瀬健介 松田清江 藤永佐和子

印刷・製本／誠美堂印刷株

印刷者

須賀 猛

取次店／トーハン、日販、大阪屋、栗田、

鈴木書店、誠光堂

発行所／マルモ出版

(株)マルモ・プランニング 出版事業部

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-20-1-5 F

電話 03-3496-7046

FAX 03-3496-7387

定期購読料／1年間(4冊) 10,300円(税込)

2年間(8冊) 19,600円(税込)

3年間(12冊) 27,800円(税込)

1冊 定価 2,580円(税込)

禁無断転載

バリアフリーの景53

米国の変革しつつある障害者環境と
ユニバーサルデザイン54

田口泰彦

高齢社会の環境デザイン56

萩田秋雄

対談／バリアフリー時代のホスピタリティー60

稲垣勉、戸谷知恵子 司会／満園武雄

「太陽の家」がある街、別府市亀川66

編集部

僕を救ってくれた一冊の身障者スポーツの本74

山崎泰広

公園のユニバーサルデザインを考える76

山本忠順

身障者への視点が、誰もが共に遊べる公園づくりに78

——長崎市の唐八景公園

編集部

ワークショップによる公園計画82

——札幌市藤野むくどり公園における試み

柴川明子／櫻井亮一

街のユニバーサル度チェック——神奈川県本厚木駅周辺を検証86

編集部

アメリカ社会におけるユニバーサルな環境づくり90

田口泰彦

伝統とユニバーサルデザインが調和した都市96

——南フランス、ニーム市

中村雅子

ユニバーサルデザインを考えた都市計画98

——バルセロナ市の取り組み

中村雅子、北村亜砂

緊急提言！ 1998年開催の長野パラリンピックに向けて106

長野を日本で先駆的なバリアフリーの街にしよう！

誰もが利用できる交通システム「Tri-Met」108

——ポートランド市のユニバーサルデザイン

ジェフ・ジョンソン

未来のパーク112

——アッサー・レヴィ・ブレイグラウンド

春日淑子

21世紀の都市型公園のプロトタイプ116

多彩な提案と新技術を集積した「ケアガーデン」

編集部

いまなぜ「ケアガーデン」か！117

越川秀治

バリアフリー関連商品の動向120

編集部

読者参加誌上コンペ審査結果発表129

一番ヶ瀬康子、新宮 晋、鈴木博之、中村良夫、進士五十八

第75回 Keyword と遊ぶ会

ランドスケープデザイン誌上コンペ
「21世紀東京ベイエリアの都市像」審査会135

連載

照明探偵団・世界の都市照明③136

BARCELONA/MADRID：個性と統一

角館政英・大関知加子

景観素材のNEW WAVE①142

富士山への想いから生まれた景観素材

多孔質環境ブロック「ナチュロック」／佐藤俊明

小堀遠州——その生涯と仕事146

第1話「遠州をかたちづくるもの」

その3 祖の形①／金澤良春

設景の思想③152

20世紀後半のランドスケープ・造園運動小史／小林治人

シリーズ③ 阪神・淡路大震災の復興計画を検証する

現地・現場からの報告と提言

暮らしの再生へ——その1／小浦久子156

価値創造型社会をめざす時代に、19世紀的なハード屋
たちが生き返ってしまった哀しい現状／河内厚郎158

テクニカルノート160

土木の橋梁・橋梁の建築／石井信行

PLAYSCAPE FORUM162

プレイスケープ概念の確立をめぐる真剣な討論

内藤裕子、片岡 輝、森山靖紘、福川成一

LOCAL TOPICS

津具村ふれあいの里(愛知県)／三浦景樹168

ROCK ARTとの遭遇(熊本県)／平嶋 孝169

News Clip166

Forum Scape170

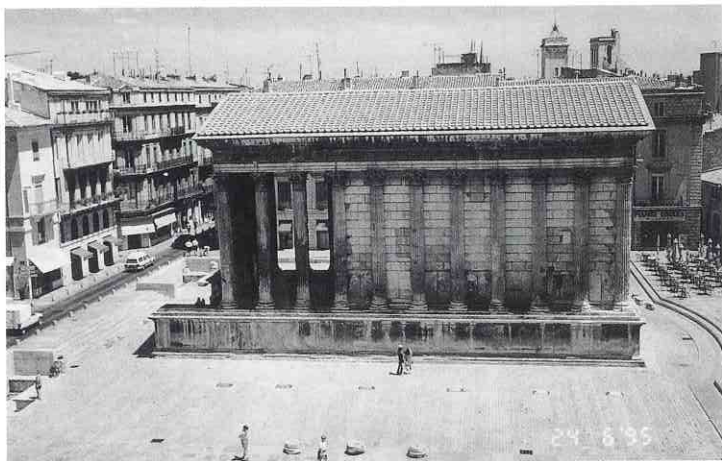
New Products176

Book Review174

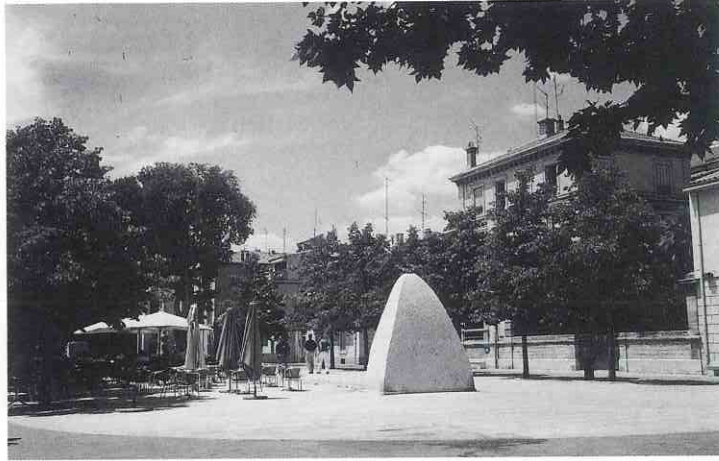
LD People178

伝統とユニバーサルデザインが調和した都市

文・写真／中村雅子（中村雅子デザイン事務所代表）



ニーム市の歴史的遺産メゾン・カレ。ニームを代表する観光資源のひとつである



メゾン・カレ近くの広場。段差がなく、障害物もほとんどない

南フランスにあるニーム市は、障害者のために行政が雇用やまちづくりに積極的に取り組んでいるということで、1994年4月、私は南フランスのプロバンスへの旅行の帰りに立ち寄った。

まずは歴史的遺産の「メゾン・カレ」「アリーナ」「トゥールマグネ」など、そしてノーマン・フォスター、ジャン・ヌーベル、ジャン・ミッシェル・ヴィルモットや日本の黒川紀章まで起用した有名建築家による新しい建物の数々……。櫻の並木がつづくゆったりとした大通りも歩道

と車道の段差の少ない通りであり、障害物の取り除かれた広場など、ユニバーサルデザインとしてのまちづくりが行われている南フランスらしい都市だった。

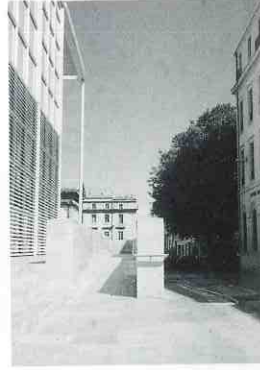
2,000年ほど前のギリシャの影響を受けた神殿メゾン・カレは、新しくその周りに配置されたゆったりとした広場と、車いす用のスロープ。また向かいの新しい建物にも使いやすいようなスロープが設置されている。

いくつかの有名な建築物も、一つひとつはデ

ザイン的に完成度が高いと思うが、私にはどうもそれらの建物が、まちが呼吸していない、活気づいていない、そんなふうな思えた。というのも、観光シーズンの土曜日にもかかわらず、まちに人が少ないからである。広場や美術館やホテルも、皆、退屈そうな従業員の人々。不思議なくらい活気を感じられなかった。

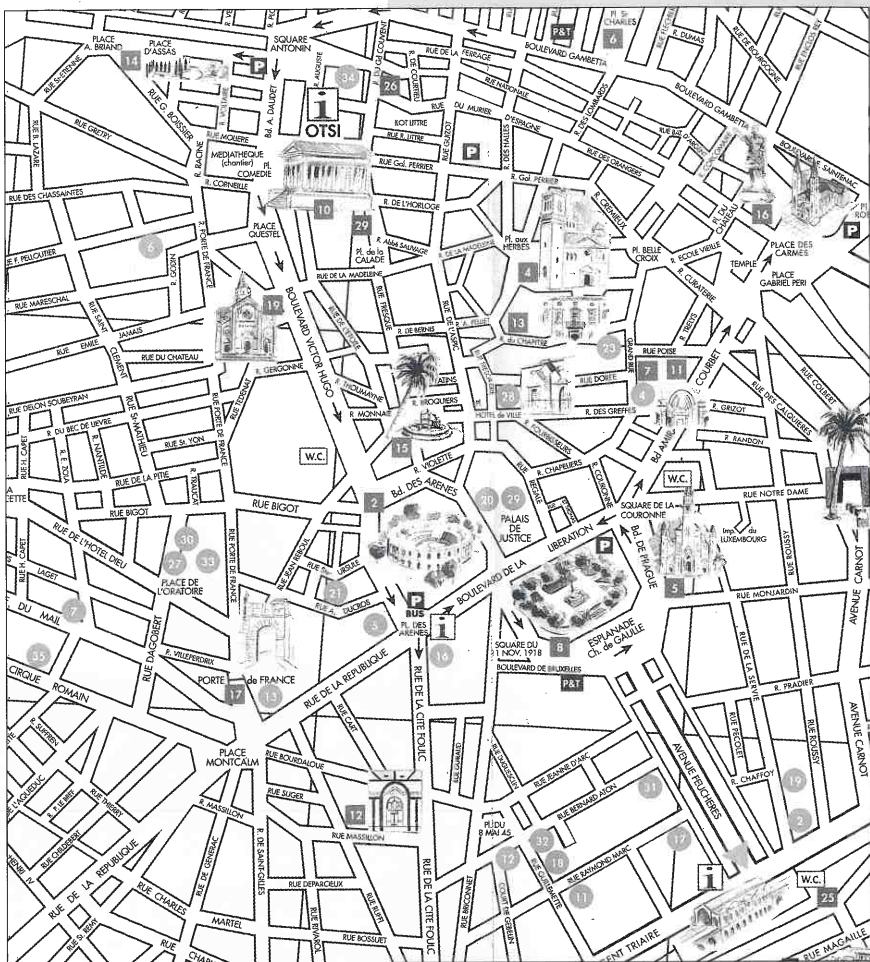
疑問をもちつつ、私は6月のある日、ニームを再訪することにした。しかし状況は変わらなかった。私が求めていたものは違ったものだ

左●1/18のゆるやかなスロープ(写真上左の建物の向こう側)。デザインは美しく、アクセスも良いが、安全を考えると手すりや幅が必要かも知れない
中●メゾン・カレ向かい側に位置するノーマン・フォスター設計のカレ・ド・アート。美術館、図書館、子供用創作教室、カフェ・レストランなどが入っている。カーテンウォールのファサードには、ときにメゾン・カレが映り、その姿はまことに美しい
右●カレ・ド・アートの折り返し式スロープ





メゾン・カレ脇のペリエ通り。ゆるやかなカーブがつづき、バスも走っている



10メゾン・カレや2アリーナ(古代闘技場)など、ニームには歴史的建造物が多い

ったからだろう。

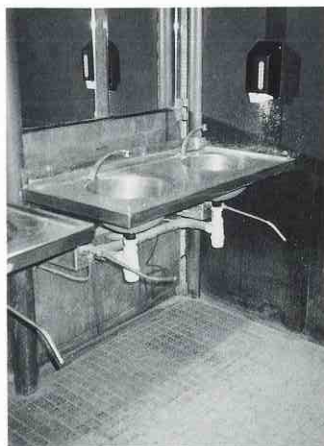
バリアフリーのためのユニバーサルデザインとは、ハードな設備の重要さと同じくらいに、人間の豊かなホスピタリティーの心のソフトが大切だと私は思う。この後者の部分がニームでは感じられなかった……。もしそれが国民性の違いだとしたら、そう簡単に環境整備だけで解決できる問題ではないのかも知れない。

ニームのマクドナルドに行ったときには、あの“ボンジュール”と愛想のいいスマイルにお目

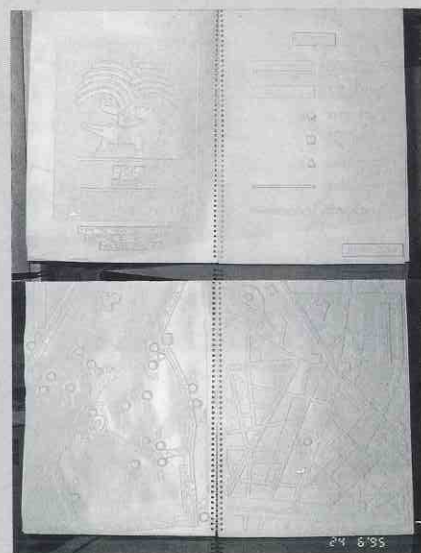
にかかった。アメリカ資本の入ったマニュアルどおりにやれば、フランス人もこうなるのか、という対応である。でも、そこはフランス人。気品や優雅さを重んじる誇り高き国民には、サービス精神やホスピタリティーは似つかわしくないのかも知れない(まちがっていたらすみません)。これらを兼ね備えたらフランス人の墮落かも……!! 心のソフトの問題を感じながら、一方ではフランス人の気質が、誤解を生じさせているのかも知れない、と思えた。



道路上の車いす専用駐車場のマーク(写真中央)。GICは重度身障者用、GIGは重傷傷痍軍人用



アリーナのトイレ。車いすでそのまま入れるよう、下がオープンになっている



市役所のインフォメーションコーナーにある案内板。視覚障害者のために点字の案内も置かれている

ユニバーサルデザインを考えた都市計画

取材・写真／中村雅子 (中村雅子デザイン事務所代表)

取材協力／北村亜砂

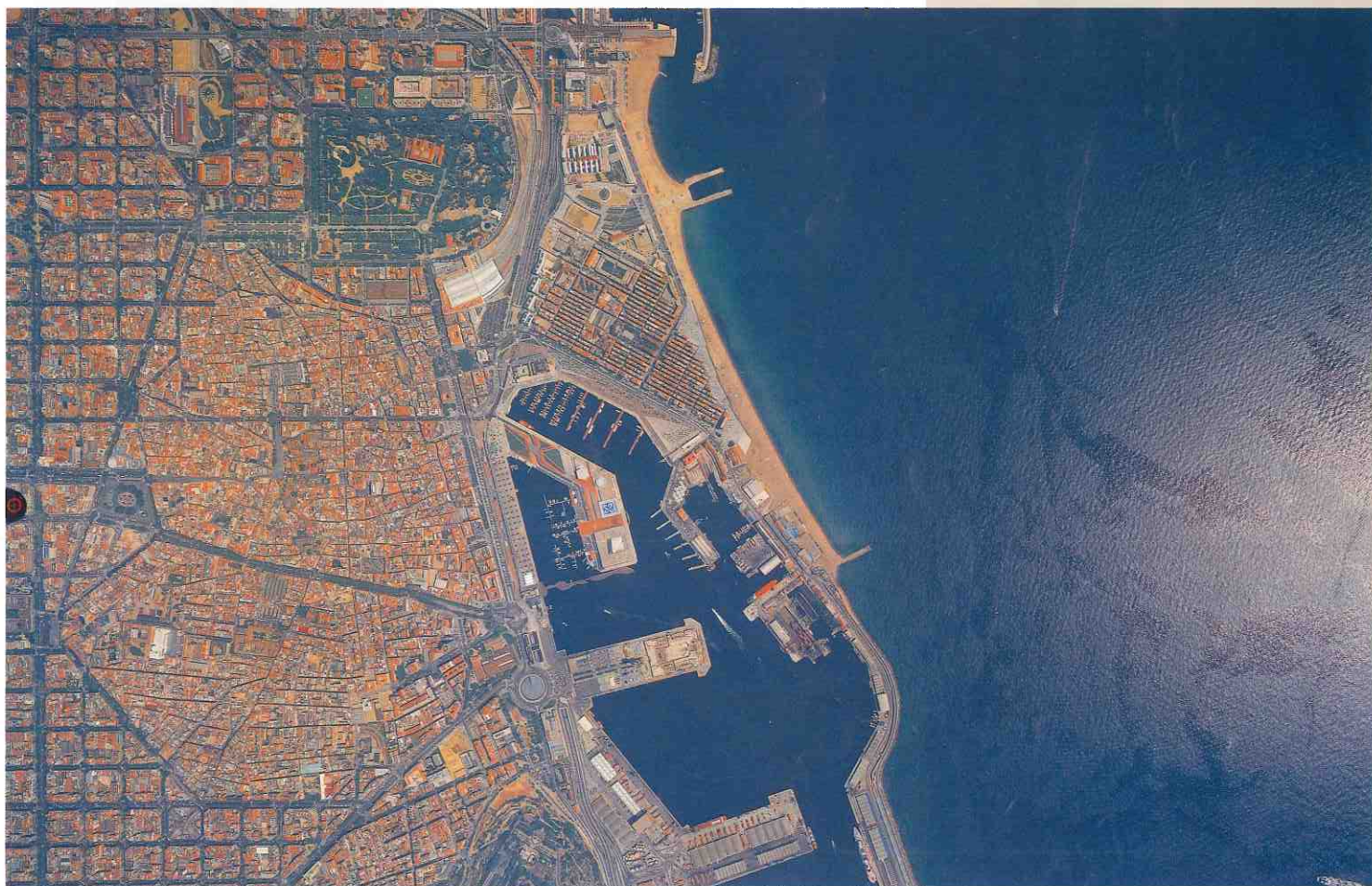


バルセロナ港：モイ デラ フスタ

PASSEIG MARÍTIM BARCELONENA
BARCELONA [パセオ マルティム
バルセロネータ(海岸) バルセロ
ナ] 1995 Photo: JOSEPGRI



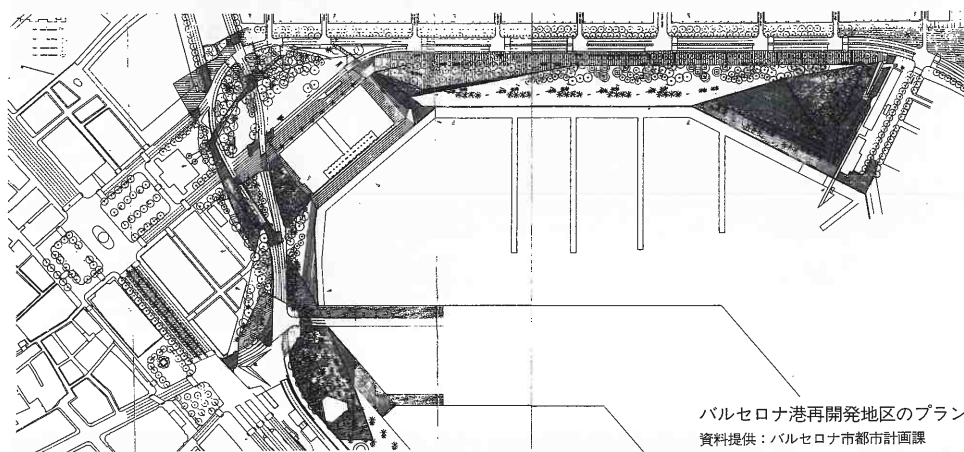
ビーチ全体



バルセロナ港再開発地区のマスタープラン 資料提供：バルセロナ市都市計画課



ランブラ デ マール 波を描いた造形、市民の人気のスポット。木の質感がやさしさを出している



バルセロナ港再開発地区のプラン
資料提供：バルセロナ市都市計画課

バルセロナ市の都市計画とユニバーサルデザイン ◎北村垂砂

バルセロナ市では、1989年のカタルーニャ自治体大都市総合計画都市基準の改正によって、同市の都市計画におけるユニバーサルデザインへの取り組みは決定的なものになった。建築物を含む公共スペースに、障害のある人や自転車、台車などが簡単にアクセスできることを要請しているため、92年バルセロナオリンピックの選手村となったマリン・ビレッジやバルセロナ港再開発地区をはじめとする街の新しい顔となった地域は、障害者の利用が可能で、景観計画に深く基づいた無理のないユニバーサルデザインとなっている。そしてそこでは、散歩や自転車、ローラーブレードなどを楽しむ人々で溢れ、人気のあるスポットとなっている。

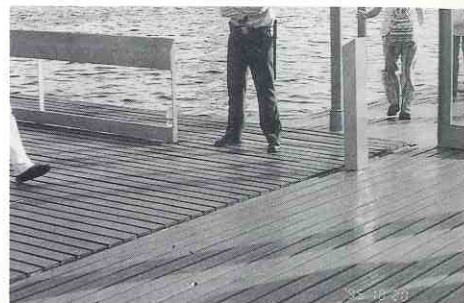
バルセロナ市での障害者対応の都市計画は、市の都市計画課、アーバンファニチュア課、街の景観改良キャンペーンなどの都市をデザインする側と、市立身体障害者機関を中心とするスペイン盲目協会、障害者協力団体連盟など数多くの利用者側の団体が協力しあって行っている。

近年とくに力を入れているのは、歩道と車道の段差を結ぶ歩行者用縁石の設置、街の景観改良キャンペーンと市立身体障害者機関の協力で、公共の場の障害物除去、都市計画の海岸アクセス計画などである。

バルセロナ市の都市計画は、同市が各分野を把握、リードしていることが特徴である。快適な気候とオープンな民族性が作り出した散歩好きな市民もより良い街づくりに積極的なため、市では景観計画に非常に力を入れている。まだ障害者にとって理想的な街ではないが、デザイン的には高いレベルにある、といえる。



プロジェクトメンバーと北村氏(左から2人目)



当初はかなりの段差があり、車いす、ベビーカーの利用がむずかしいと市民から批判されて改良したが、まだ完全にはなっていない



ビーチにはスロープ、車いす用アクセス、シャワー、トイレなどの設備がある



ビーチの水のみ場



ビーチの設備、浜近くまでアクセスできる

●バルセロナ・マルチモ通り/ナショナル通りプロジェクトメンバー
ジャウマ・アルティエガス、ミゲル・ロッジ、ジョルディ・エンリック、オルガ・タラソ、アルクス、アナ・カスターニエーダ



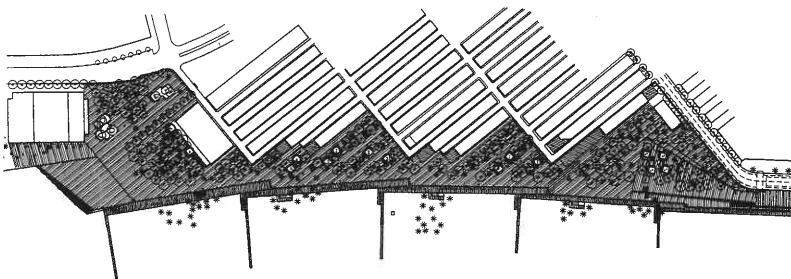
バルセロナ港：モイ デラ フスタのスロープ。コロ南通りから下に走る首都高速を渡って港へ行ける



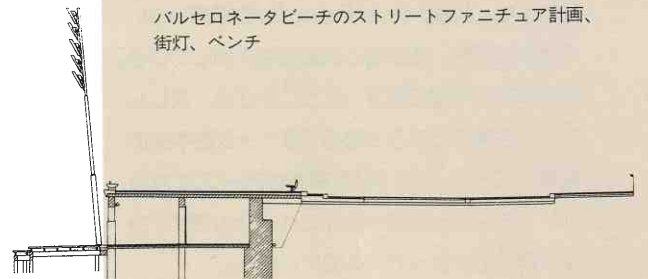
ビーチへ降りるスロープ



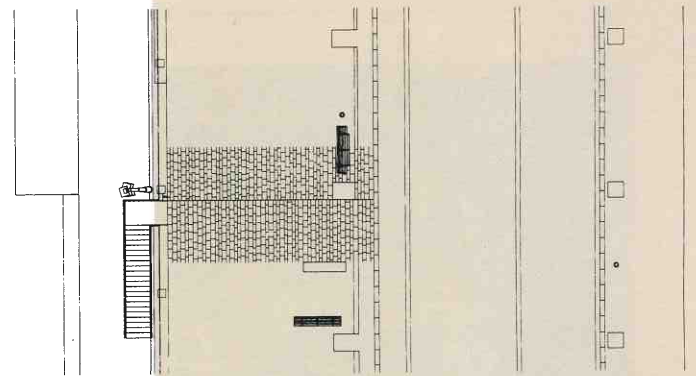
ビーチ向かいのアパートを結ぶ公園内のスロープ



バルセロナビーチプラン



バルセロナビーチのストリートファニチュア計画、街灯、ベンチ



ごくゆるやかにスロープを描く約2kmの歩車共存道路



王立ヨットクラブ、ショッピングセンターへの駐車場へいく車と人のアクセスが交差している所

バルセロナに暮らして

◎ 中村雅子

フランコの死去から始まった街づくり

新・旧さまざまな文化、歴史をもった地中海沿岸最大の都市バルセロナは、スペイン総統フランコの死去した1975年以降、カタルーニヤ人建築家オリオル・ボイーガスの手により基本的な街づくりが始まったとされている。

ランブラス通り、ランブラ・デ・カタルーニヤ通りに代表される“歩くための通り”は、道幅の半分以上を歩道として真中に設け、アート、緑、ベンチなどを配している。一番いい眺めのところを、通りの両側の建物をパースペクティブに見ながら散歩できることが、なんて心地よいのだろうと、私はバルセロナに来て初めて知った。

港に平行して西から東へ抜ける首都高速は、コロン通りと並んで地下にもぐっていく。これは視界の計画として海からの眺めを考慮した結果であり、『Molí de la Fusta』(木の栈橋)という緩衝地帯が、散歩道の機能を生み出している。車いすの人が海の魚をカメラにおさめ、楽しんでいた写真のところである(98ページ左中央の写真)。こうした基本的な骨格がベースになり、ハードもソフトも含めたユニバーサルデザインが自然にそなわっていくのだと思う。

異文化の流入が、街づくりの土壌に

バルセロナ市の特徴としては、街にベンチがとて多いことだろう。その温暖な地中海沿岸気候のせい、ふつうの通り、幹線道路、歩道の上、海岸、ショッピングセンター、広場、公園はもちろん、街のいたるところに Good-Design のベンチが配置されている。多くは温かな感じのする木製(しっかりと道路に固定されている)で、1人掛けから2~3人掛けまで円形になっていたり、ジグザグを描いていたりして、それが緑といっしょにうまくデザインされている。

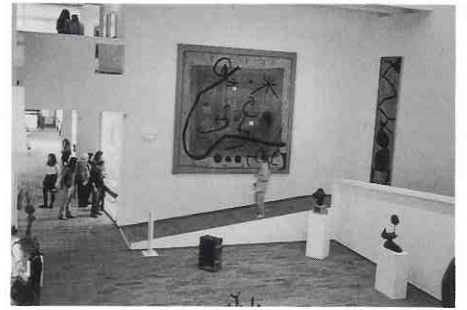
ある老人は1人掛けの椅子に腰かけて新聞を読み、犬をつれて杖をついている足の不自由そうな老人はチェスの仲間に加わり、ご婦人方はトランプに興じている。そういう街の包容力が、ハンディキャップをもつ人だけでなく、多くの人々をやさしくさせているのではないかと思う。

実際カタルーニヤはその歴史的背景より他国の侵略にあい、さまざまな異文化を受け入れてきた。そのなかで自己を確立し、個の意見をはっきりもちつつ、相手を認め、誰に対しても分け隔てなく接するという人間性を自然に生み出してきた国民なんだろうと思った。

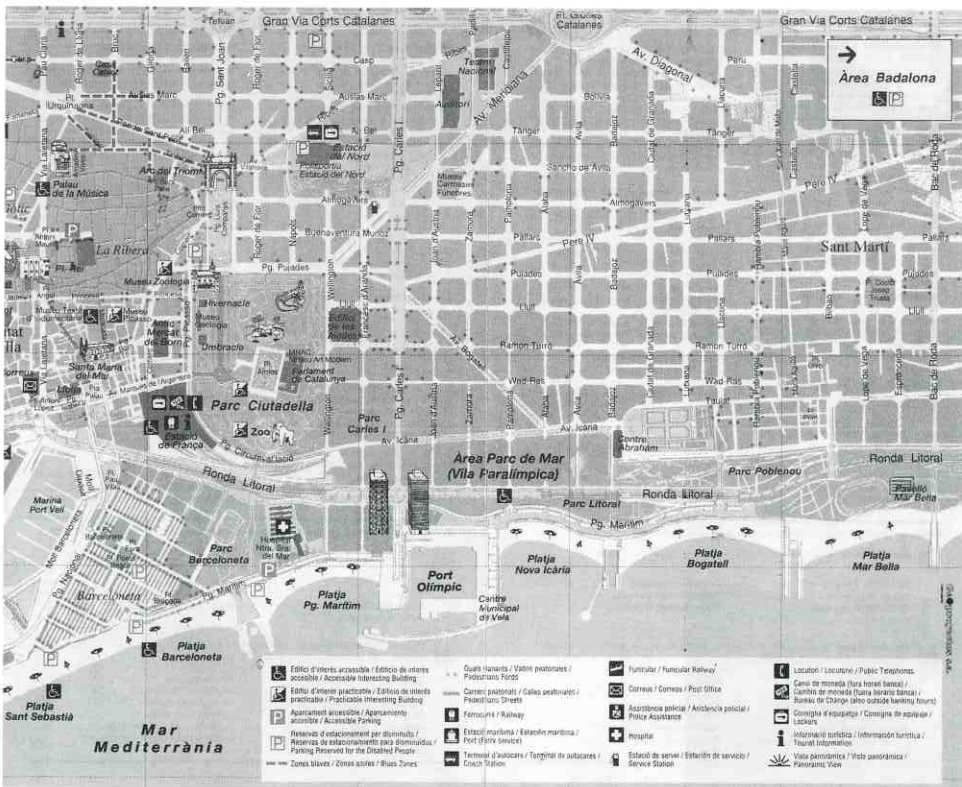
「ミロ美術館」



メインエントランスのゆるやかなアプローチと車いす専用駐車場(白い車が止まっている所)



館内は車いす利用者の見学可能



バルセロナ'92パラリンピックマップ。アクセスしやすい建物、駐車場、歩行者用緑石、障害者専用駐車場から交通、郵便、病院、観光案内など、多様な施設の案内が盛り込まれている

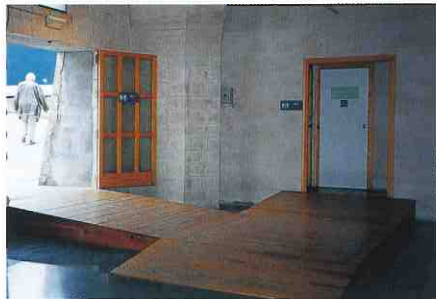


Accessibility in Barcelona

バルセロナは古くより芸術的、文化的に恵まれた過去をもつ複合的かつ革新的な街である。その歴史にそって、この街は実際に必要とされてきたものをその都度受け入れるよう、大きな変貌を遂げてきた。最近、行われているプロジェクトには、街にハンディキャッパーが必要とするものを採用することが含まれている。一連の活動の結果として、公共道路や建物内をはじめ、交通機関での彼らの移動は本質的に日々改良されている。したがってパラリンピックを機会に私たちが訪ねてくるハンディキャッパーは、同時に私たちの街を楽しむことができる。(バルセロナ'92パラリンピックマップ解説より)



身障者用出入口



地下美術館内のトイレ

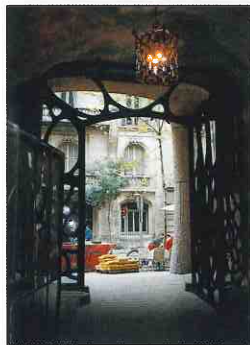
[サグラダファミリア]

サグラダファミリアはエレベーターを使って、上に昇る事以外は車いすの人も楽に行ける。建物の中庭、それを囲む通路、館内はすべてスロープ



入口部分のスロープ

[カサミラ]



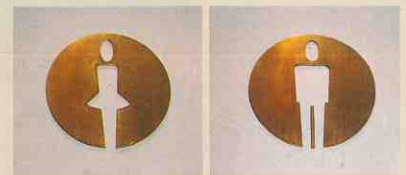
入口スロープ、もともとの駐車場へのスロープを利用



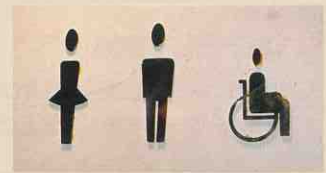
居住者用エレベーター、中は広いがドアの幅は車いす対応になっていない



展示会場内トイレ



カサミラらしいブロンズのサイン



洗面所を示すマーク

[ゲエル公園]

ゲエル公園は山の中腹の傾斜面を生かして作られた公園のため、公園内には多数の階段がある。車いすの人は周辺の山道のスロープを散歩する程度で中には行けない



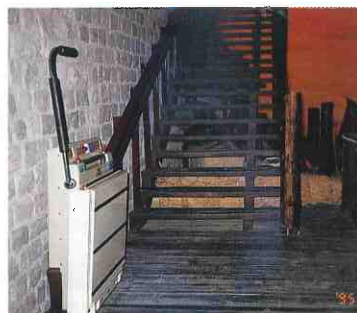
入口まわりのスロープ状散歩道



入口部分の広場

[海の博物館]

1378年建設の造船所、ギリシャ、ローマ時代の壺、いかり、大航海世界地図などの展示を一部、視覚障害者の方もさわって楽しめる。レバントの海戦(1571年)で活躍したレアール号の原寸模型には車いす用の昇降機も設置されている



イヤホンで説明を聞きながら歩く

〔ケーブルカー〕



最前部車いす用出入口とそれを示すマーク
(モンジュイックケーブルカー車両)



モンジュイック駅にある車いす用昇降機



車両についているマーク

〔駐車場の出入口〕

バルセロナの町では車は地下、人と車の分離がうまくデザインされている。首都高速も地下を走っている。駐車場も地下にある



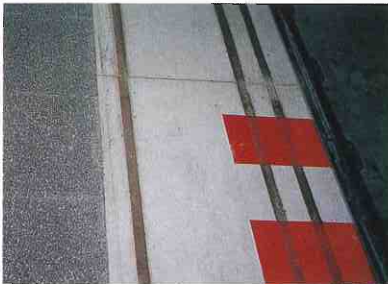
カテドラル前の駐車場の出入口 (2点)



オリンピック村の地下駐車場の出入口。デザイン処理がうまい例

〔地下鉄L2路線〕

2号線に新たに設置されたエレベーター。エレベーターを利用して地上に出られる



点字板のあるプラットフォーム



車いす対応の切符売場



点字板付き車いす用改札口



改札口フロア用エレベーター



プラットフォーム用エレベーター



サグラダファミリア駅地上部エレベーター

〔バス〕 身体障害者用のバス



乗降時わずかに左に傾いている



バス停にあるステップ台、市内数か所にある



よりアクセスしやすいバス停



市内の身体障害者機構はホテル、レストラン、バー、警察署、美術館、薬局、病院、ショッピングセンター、銀行、他のリストをつくり、車いす利用の可能な施設の案内をしている

[銀行]



キャッシュディスプレイへのアクセス



スロープが設置されている銀行の出入口

Oficina	Carrer	Num Activitat	Telefono	Codiact	Vialitat	Accessos/Actives	Accamp	Porter	Moboves	Obert
1	TEXTIL CAFE	C. MONTICADA	12	PUBS I BARS DE COPIES	318 95 92	106	CRID			1
1	MODAS	C. TALLERS	11	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	CAFE DE LARTS	C. VALENCIA	234	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	RENOR	C. GEPULVEDA	60	PUBS I BARS DE COPIES	225 11 13	106	CRID			1
2	YELGONAM	C. MONTANER	213	PUBS I BARS DE COPIES	230 60 22	106	CRID			1
2	CIBELIS	C. CORCEGA	363	PUBS I BARS DE COPIES	467 36 77	106	CRID			1
2	VELVET	C. BALMES	181	PUBS I BARS DE COPIES	427 87 14	106	CRID			1
2	ADONIS	C. BALEN	188	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	CHIC STUDIO	C. PARALEL	64	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	LOS JIANETES	C. ALBANI	4	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	ALMIRALL	C. JOAQUIM COSTA	33	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	CAFE DE LA OPELA RAMBLA		74	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	EL CANONJOL	C. MONTERRAT	9	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	DISTRITO MARITIM	MOLL DE LA FUSTA		PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	LONDON BAR	C. NOU DE LA RAMBLA	24	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	MARSELLA	C. SANT PAU	85	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	PASTIS	C. SANTA MONICA	4	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	RAVAL	C. DOCTOR DOU	118	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	ELS QUATRE GATC	MONTIBO	3	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	LA CIBOLLA ROIG	VALENCIA	238	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	SELTY	ROSELLON	154	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	MUY BUENAS	C. CARMEN	63	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
1	CASA ESTEVE	C. MONTICADA	22	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	TICK TACK TOE	C. ROGER DE LAUR	40	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	ZBA ZBA	C. ROSELLON	156	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
2	EL OTRO	C. VALENCIA	166	PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
10	LA TERRAZA DEL MOLL DE MESTRAL			PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
10	LA TABERNA DEL MOLL DE MESTRAL			PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
10	EL JUNCO	MOLL DE MESTRAL		PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
10	UP & DOWN	MOLL DE MESTRAL		PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1
10	CHI TECHILA	MOLL DE MESTRAL		PUBS I BARS DE COPIES		106	CRID			1

[レストラン]



出入口に段差がなく、右側入口にマークがある



身障者専用のトイレがある(男女共通)

[案内板・電話台]



盲目者への市内案内地図(上がはがされている)。公園には6か所あった



[歩行者用縁石]

バルセロナ市が特に力を入れている、この歩行者用縁石 120 タイプと車両用 60 タイプ、それに付属するストリートファニチュアのゴミ箱や信号などもグレーで統一(ストリートファニチュア課が推進)



歩行者用縁石



歩行者用縁石



車用縁石

[ベンチ]

カタルーニャ人・バルセロナの人にとっては1日のかなりを外で過ごす事をととても大切にしている。広場、公園、道路、海辺など、さまざまな所にベンチがある

